

## 学校再開く試運転



五月二十五日(月)より、学校が再開しました。まずは試運転として、五月中は分散登校を行い、本格再開は六月からの一斉登校となります。一年生に

とっては待ちに待った高校生活です。分散登校のこの日、学びの姿勢は真剣そのもの。一人一人が数学の問題に向かっていきます。

教員も本

当はグループ学習を展開して、アクティブラーニングを実践したいところですが、今は我慢です。一人一人の頭の中がアクティブになるような発問を工夫し準備して授業に臨みます。



## 進路指導く全力操業



職員室では、進路指導主事を中心に、すでにお願いが始まっているA〇入試について議論が行われていました。コロナがなければ、四月当初

から個別指導を行って、万全の体制で臨みたいところですが、臨時休業で指導もままならず。進路指導は、試運転などと



悠長な状況にはありません。三年生の真剣なまなざし、自ら考える姿勢に感服のため、学校再開と同時に三年の担任団と進路指導部が力を合

わせて全力操業です。

## 時には夢も語ります

学校再開初日の授業の一幕。



授業者は本校教頭です。この日の授業は「世界史A／人類の出現」についてのものです。板書波線を見ると「夢の中へ」でした。通りすがりのスナップ写真ですので、「夢」が人類の夢なのか、生徒諸君の夢なのか、はたまた教頭の夢なのか、判然とはしませんが、「僕はパッションで生きていく」と言ってる（はばか）らない教頭らしく、熱く語っていますね。臨時休業中は授業ができず相当つらかったのだと思います。

人類の夢ならコロナに打ち勝つことでしょうか、生徒諸君の夢なら進路実現でしょうか、教頭の夢なら・・・、校長としては興味がありません。

本校のビジョンには「知性と教養を備え

た人間」の育成を掲げています。知識だけに偏らない、教養たっぷりの授業であったことでしょうか。

## 校長のつぶやき

「勿来高だより」二号をお届けします。



記事をお読みいただいてわかるように、生徒が来ると学校は勢いよく回り出しますね。生徒も生き生き、教員も生き生き。学習の遅れにと

う対応するか、生活の乱れをどう改善させていくか、そういうことも学校を取り戻したからこそ、前向きに議論できることなのだなあ実感しているところです。

まずは、せっかく手に入れた学校を再び手放すことのないように、校内感染防止に教員も生徒も取り組んでいくことが肝要です。学校のコロナ



ナ対応はこれからが本番です。生徒が、学校と地域・家庭を行き来する以上、地域・家庭の健康が学校の健康、学校の健康が地域の健康であると考えています。臨時休業中にもまして、みなさまの協力をお願いいたします。

閑話休題。

六行余りました。写真を多用する工夫で両面埋められると踏んでいたのですが、うまくいかないものです。残る一手は連載小説かなあ。